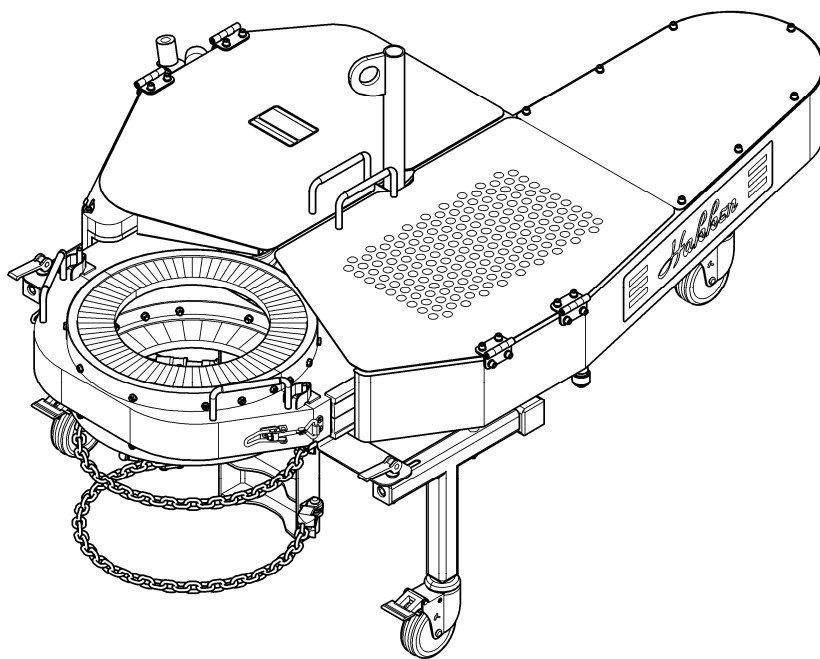




# 電柱切断ワイヤーソー

## UPW-100A

### 取扱説明書



- ◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。
- ◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく安全に使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

## 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所などの周囲に迷惑をかけないように規制値以下で使用するため、状況に応じてしゃ音壁を設けてください。

## 注意文の「▲警告」・「△注意」・「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「▲警告」・「△注意」と「ポイント」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**▲警告** : 誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**△注意** : 誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**ポイント** : 製品の据付け、使用方法、メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますから、必ず守ってください。

本文中では、下記の表の通り正式名称を略称で記述しています。(但し、説明上必要な箇所は正式名称で記述しています)

正式名称	略称
電柱切断ワイヤーソー	ワイヤーソー
ダイヤモンドワイヤー	ワイヤー
横浜ゴム 油圧用Sカップリング	YRカプラー
送り方向切替えスイッチ	送りスイッチ
引張力ボリューム	ボリューム

---

# 目次

---

1. 警告 および 注意	
【1】油圧機器の安全上のご注意	2
【2】電柱切断ワイヤーソーの使用上のご注意	4
2. 各部の名称	6
3. 仕様	7
4. 標準付属品	7
5. 用途	8
6. オプション品（別売）	8
7. 使用時全体図	8
8. 操作方法	9
9. 使用方法	
【1】ワイヤーソーの準備	9
【2】油圧ホースの接続	9
【3】集じんホースの接続	10
【4】操作盤の接続	10
【5】ワイヤーの取付け	11
【6】ワイヤーソーの取付け	11
【7】ワイヤーの巻き付け	12
【8】後付カバーの取付け	13
【9】切断作業	13
【10】取りはずし作業	14
10. 作業中のトラブルと対策	15
11. 点検・保守・修理	
【1】作業前点検	16
【2】定期点検	16
【3】保守	16
【4】修理について	17
12. 製品の保管	19
13. 点検確認表	20

# 1. 警告 および 注意

- ◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「油圧機器の安全上のご注意」「電柱切断ワイヤーソーの使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 【1】油圧機器の安全上のご注意

### ▲ 警 告

1. 指定された用途以外には使用しないでください。
2. 作業員以外は施工場所へ近づけないでください。
  - ◎ 作業員以外、油圧機器・操作盤類やコード・ホースには、触れさせないでください。
3. 施工場所の周囲状況も考慮してください。
  - ◎ 操作盤類などの電気機器は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - ◎ 施工場所は十分明るくしてください。
  - ◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
  - ◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。
4. きちんとした服装で作業してください。
  - ◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ◎ 滑り止めのついたゴム手袋と履物を着用してください。
  - ◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
5. 安全保護具を使用してください。
  - ◎ 作業時は保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ◎ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
7. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ◎ 各機器を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
  - ◎ 回転物には、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
  - ◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
  - ◎ 疲れている場合は、使用しないでください。

## ▲ 警 告

8. 感電に注意してください。

- ◎ 必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断装置の設置された電源を使用してください。
- ◎ 漏電による感電事故を防止するために、必ずゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。

9. コードやホースを乱暴に扱わないでください。

- ◎ コードやホースを持って機器を運ばないでください。
- ◎ コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ◎ コードを熱・油・角のところがった所に近づけないでください。

10. 指定の付属品やオプション品を使用してください。

- ◎ 本取扱説明書およびコンセックカタログに記載されている付属品やオプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますから使用しないでください。

11. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◎ 使用前に、保護カバー・コード・ホースやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動し、所定の機能を発揮するか確認してください。
- ◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす、すべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◎ スイッチで起動および停止操作のできない機器は、使用しないでください。
- ◎ 損傷・故障した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。

12. 次の場合は穴掘建柱車の操作を行わないでください。

- ◎ 油圧ホースの接続、取り外しを行う場合。
- ◎ 刃物などの付属品を交換する場合。
- ◎ 使用しない、または、修理する場合。
- ◎ 使用中に油圧機器から異音を発したとき。
- ◎ その他危険が予想される場合。

13. 器具や工具などは、必ず取りはずしてください。

- ◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

14. 各機器は注意深く手入れをしてください。

- ◎ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

15. きちんと保管してください。

- ◎ 乾燥した場所でお子様の手のとどかない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。

**▲ 警 告**

16. 各機器の修理は専門店で依頼してください。

- ◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- ◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。

**【2】電柱切断ワイヤーソーの使用上のご注意**

**▲ 警 告**

1. 雨中では使用しないでください。

- ◎ 屋外での使用を想定していますが、防雨型ではありません。

2. キャスターのストッパを効かせてください。ワイヤーソーが急に移動して思わぬ事故の原因になります。

3. 穴掘建柱車は、ワイヤーソーの仕様に適合しているかを確認して使用してください。

- ◎ 穴掘建柱車の取扱説明書をよくお読みのうえ、指示に従って安全にご使用ください。

4. ワイヤーソーの吊り上げや吊り下げを行うときは、周囲に危険がないように十分注意してください。

- ◎ ワイヤーソーの吊り上げ、吊り下げには、玉掛け作業の資格が必要となります。
- ◎ 周囲に人や障害物がないことを確かめてから、安定した状態で吊り上げてください。
- ◎ 吊り上げ、吊り下げのときにワイヤーソーの下に入らないようにしてください。
- ◎ 吊り上げ、吊り下げのときに衝撃を与えないようにしてください。

5. 後付カバーの取付けや取りはずしを行うときは、ワイヤーソーの下に入らないようにしてください。

6. 高所での作業は関係法令に従って作業してください。

- ◎ 高所での作業の場合は、十分にスペースのある足場を確保してください。
- ◎ 高所での作業の場合は、施工場所の下に人を入れないようにしてください。
- ◎ 安全帯、保護帽を必ず着用してください。

7. 異常時にはただちにメインプーリの回転を止めてください。

- ◎ 使用中にワイヤーが止まったり異音を発したときは、ただちに穴掘建柱車の運転を停止し、メインプーリの回転を止めてください。

8. メインプーリのゴムリングおよび樹脂プーリに異常摩耗がないことをご確認ください。

9. ダイヤモンドワイヤーは当社指定のものを使用してください。

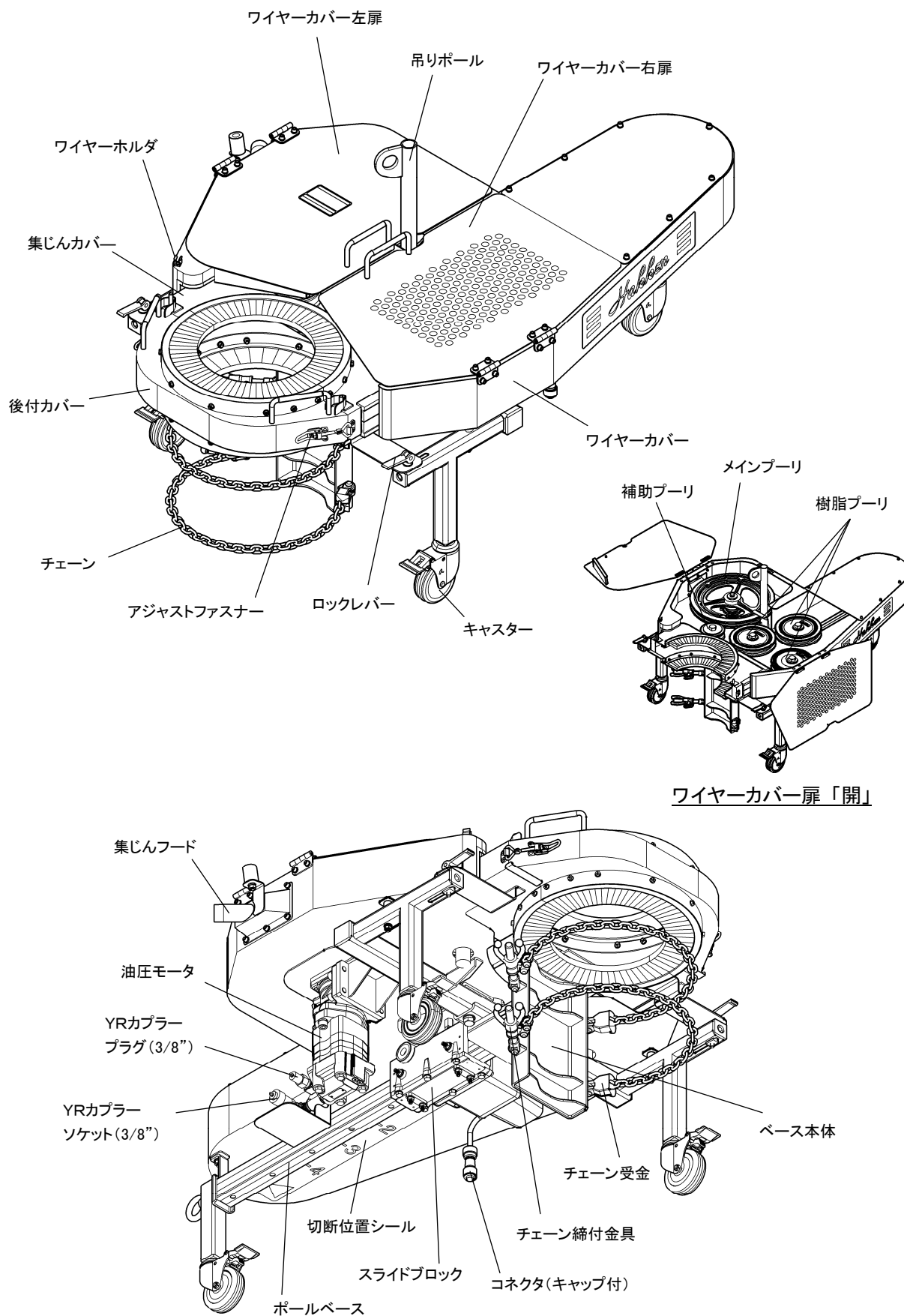
- ◎ ワイヤーは当社指定のものを使用し、ダイヤモンドワイヤー以外のワイヤーは絶対に取付けしないでください。

10. ワイヤーのスリーブが奥までねじ込まれていることを確認してください。ねじ部が破断して飛散する恐れがあります。

**▲ 警 告**

11. ワイヤーを接合しているスリーブは使用により摩耗しますので、切断10回ごとに交換が必要です。お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。
12. ワイヤーは使用中に火花を発生させることがあります。引火や爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
13. ワイヤーを取付ける時は、穴掘建柱車の操作を行わないでください。不意にワイヤーソーが起動し、けがをする危険があります。
14. ワイヤーがカバーと接触していないか、使用中に接触する恐れがないか確認してください。ワイヤーソーおよびカバーを破損する恐れがあります。
15. ワイヤー破断やスリーブ抜けは大変危険です。必ずワイヤーカバー扉を閉めて、後付カバーを取付けて切断作業を行ってください。
16. 切断作業中は、施工領域に近寄らないでください。また、関係者以外は近づけないでください。
17. 被削物に対する安全対策を行ってください。
  - ◎ 切断中の被削物が落下すると大変危険ですので、切離される側の被削物を吊り、落下防止対策を行ってください。また、切り離された後の被削物は、振り子のように揺れるなど周囲に危険を及ぼすことのないように対策を行ってください。
  - ◎ 切断中の被削物が破断し、切断面にワイヤーがはさまれると、ワイヤーがロックしたり破損する原因となります。被削物が破断しないように吊り上げてください。

## 2. 各部の名称





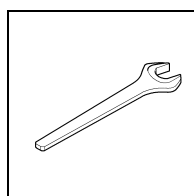
### 3. 仕様

型式名	UPW-100A	
コンクリート柱の適用径	260～340mm	
油圧モータ	定格圧力	20.5MPa
	最大流量	54L/min
	メインシャフト最高回転速度	850min <sup>-1</sup>
送りモータ	定格出力	23W
	最大送り速度	2219mm/min
	最大引張力	498N (50.8kgf)
集じんフード径	φ 38	
適用ダイヤモンドワイヤー径×長さ	10.5mm × 4m	
組立総質量(操作盤・接続コードを除く)	95kg	

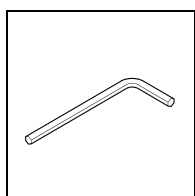
### 4. 標準付属品

操作盤	
使用電源	単相交流 100V
電源コード長	10m
質量	4.1kg

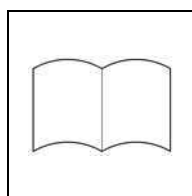
接続コード	
コード長	20m
質量	3.3kg



片ロスパナ  
13mm  
…1ヶ



六角棒レンチ  
4mm  
…1ヶ

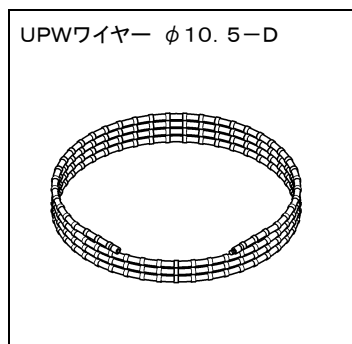


取扱説明書  
…1ヶ

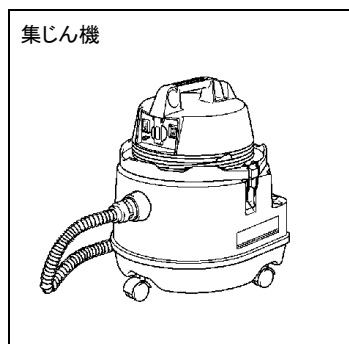
## 5. 用途

◎ コンクリート柱の切断・解体

## 6. オプション品（別売）

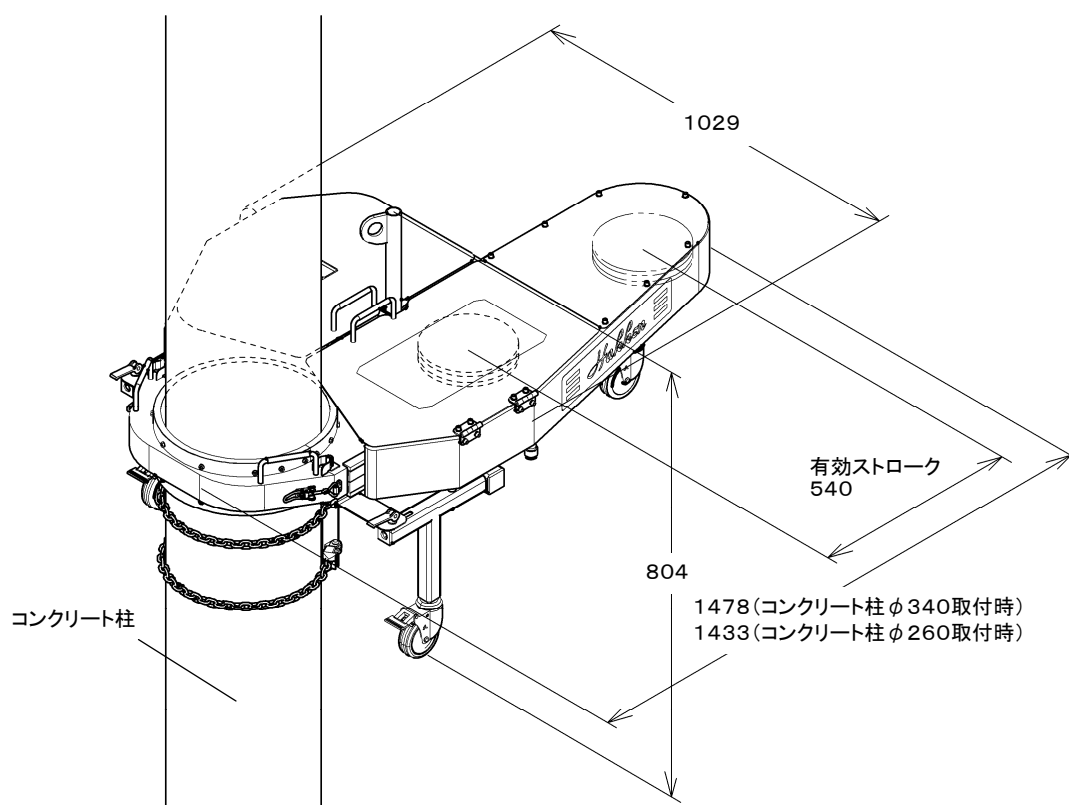


本製品専用のダイヤモンドワイヤーです。乾式仕様でねじでつながり合わせて使用します。ねじ式スリーブ付きで4mです。

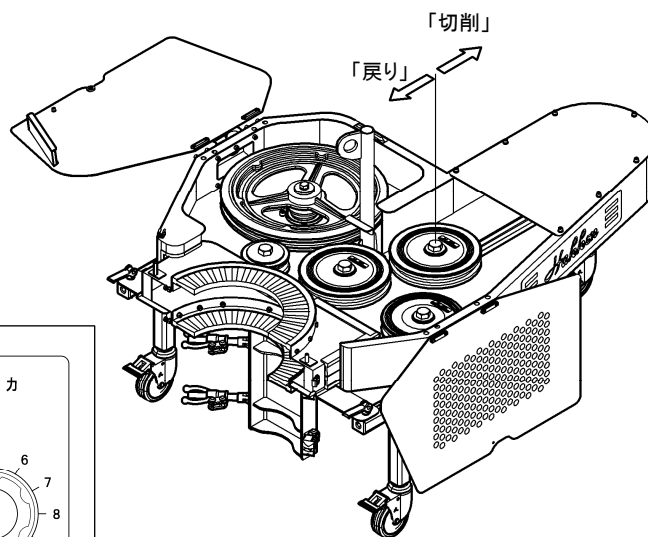
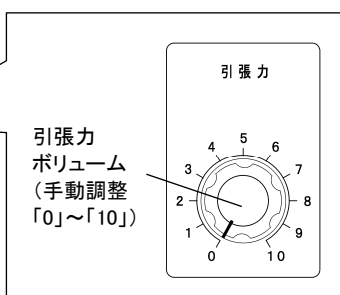
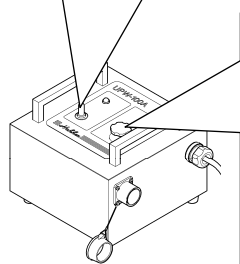
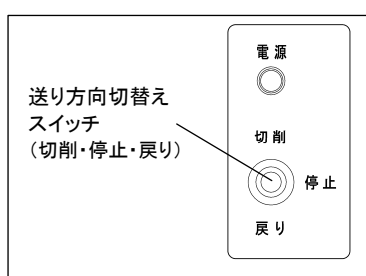


切断時の粉じんの回収に使用します。高所で使用するため、集じんホースは延長が必要です。

## 7. 使用時全体図



## 8. 操作方法



送りスイッチを「切削」または「戻り」にすると図の矢印の方向へ移動します。

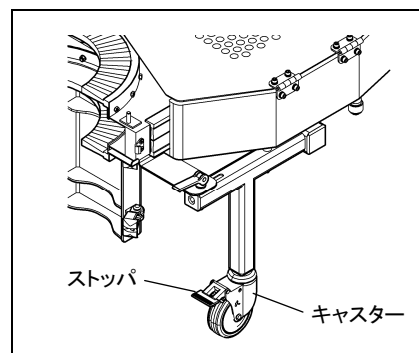
## 9. 使用方法

### 【1】ワイヤーソーの準備

- 1) ワイヤーソーが動かないようにキャスターのストoppaを踏んで効かせてください。
- 2) キャスターのストoppaを跳ね上げると解除できます。

#### ⚠ 警告

キャスターのストoppaは必ず効かせてください。ワイヤーソーが急に移動して思わぬ事故の原因になります。



### 【2】油圧ホースの接続

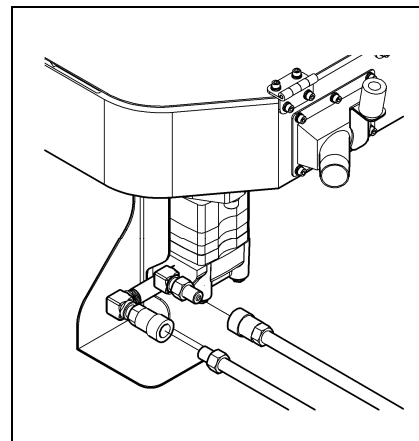
穴掘建柱車の油圧ホースをメインモータのYRカップラーに接続してください。

#### ⚠ 警告

YRカップラーを奥まで差し込んで、抜けないことを確認してください。作業中にはずれて思わぬ事故の原因になります。

#### ⚠ 注意

YRカップラーにゴミ・泥などが付着しているときは、きれいな布などで拭きとってから接続してください。

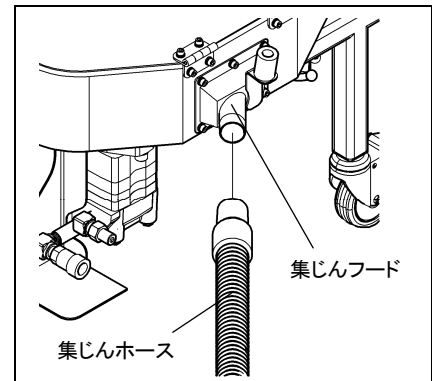


### 【3】 集じんホースの接続

集じん機からの集じんホースを集じんフードに差し込んでください。

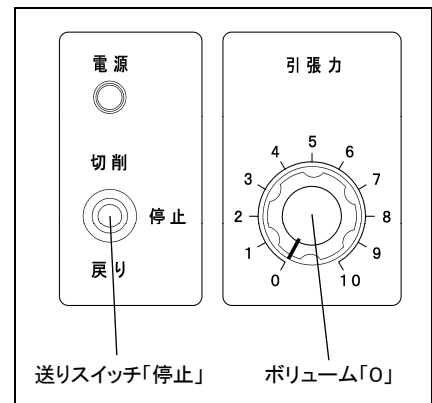
#### ⚠ 注意

集じんホースを奥まで差し込んで、抜けないことを確認してください。

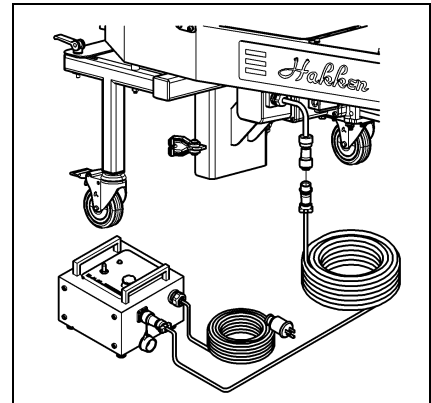


### 【4】 操作盤の接続

1) 操作盤の送りスイッチを「停止」にし、ボリュームを「0」にしてください。



2) 操作盤とスライドブロックを接続コードで接続してください。



3) 操作盤の電源プラグを100V電源に接続してください。

#### ⚠ 注意

1. 電源プラグがぬれている場合は、十分乾燥させてから接続してください。
2. 電源プラグおよび周辺に付着しているゴミ等は、きれいに拭き取ってから接続してください。

## 【5】ワイヤーの取付け

### ⚠ 警告

1. ワイヤーを取付けするときは、事故を防止するために穴掘建柱車の操作を行わないでください。
2. 損傷のある場合および10回使用したワイヤーは絶対に使用しないでください。
3. ワイヤーを接合しているスリーブは使用により摩耗しますので、切断10回ごとに交換が必要です。

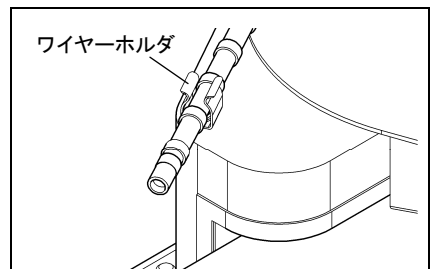
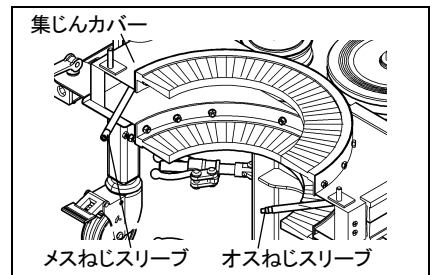
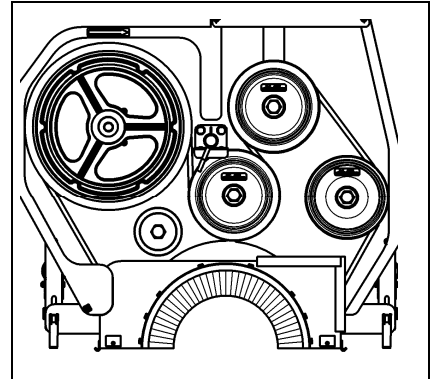
- 1) スライドブロックは、ポールベース下端(ベース本体側)まで移動させてください。
- 2) あらかじめワイヤーをメインプーリおよび樹脂プーリの溝にかけて、ワイヤカバー内に置いてください。

### ⚠ 注意

ワイヤーの切断方向の矢印とメインプーリの回転方向(メインプーリ側から見て時計回り)を合わせてください。

- 3) 集じんカバーからワイヤーの端を少し出してください。

- 4) メスねじスリーブ側のワイヤーの端を引き出して、ワイヤーホルダに引っ掛けてください。
- 5) ワイヤーカバー左扉および右扉を閉めてください。



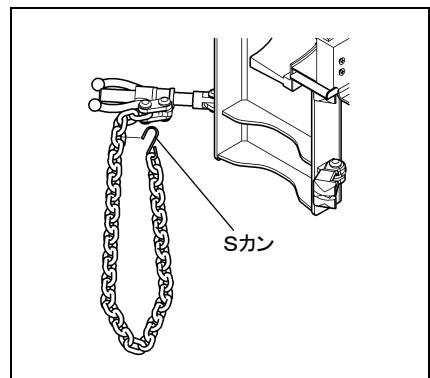
## 【6】ワイヤーソーの取付け

- 1) ベース本体のチェーン先端のSカンでチェーンを短く折りたたんでください。

### ⚠ 警告

ワイヤーソーを吊り上げたときに、チェーンがあばれてケガをする恐れがあります。

- 2) 吊りポールに吊りワイヤーをかけて、穴掘建柱車のクレーンで切断位置までワイヤーソーを吊り上げて停止させてください。



**▲ 警告**

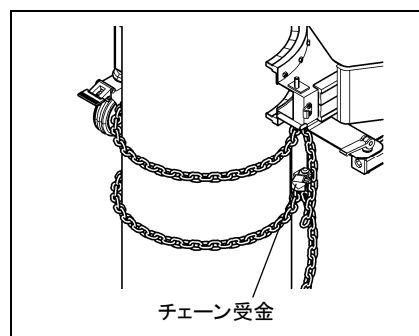
ワイヤーソー吊り上げるときに、油圧ホースを引っ張らないでください。油圧ホースにピンホールが発生し、作動油が噴き出す恐れがあります。

**ポイント**

あらかじめベース本体のチェーン締付金具とチェーン受金を、ベース本体のコンクリート柱接触面から遠ざけておくのと取付けがスムーズに行えます。

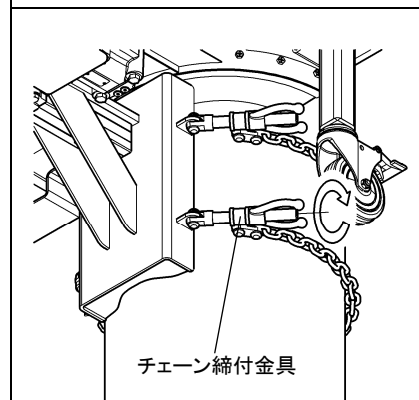
3) ベース本体をコンクリート柱に当て、チェーン先端のSカンをはずしてください。

4) チェーンをコンクリート柱に巻き付けチェーン受金に引っ掛けてください。



5) チェーン締付金具を均等に手で締め付けて、ベース本体をコンクリート柱に固定してください。

6) 締付けが完了したら吊りワイヤーを少しゆるめて、再度チェーン締付金具を手で締めこんでください。



**▲ 警告**

1) ベース本体は必ずチェーン2本で固定し、動かないことを確認してください。ワイヤーソーが落下し大変危険です。

2) 吊りワイヤーを少しゆるめた後も、再度ベース本体が動かないことを確認してください。

7) 吊りワイヤーをはずしてください。

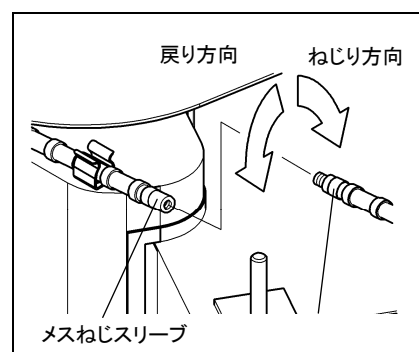
8) 穴掘建柱車のクレーンで切断側のコンクリート柱の落下防止対策をしてください。

**【7】ワイヤーの巻き付け**

1) ワイヤーカバー左扉および右扉を開いてください。

2) オスねじスリーブ側のワイヤーの端を引き出して、右(時計回り)に6回転ねじってください。

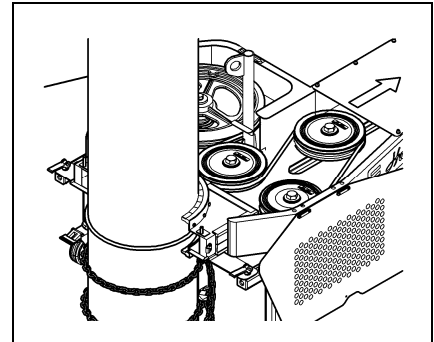
3) ねじりが戻る力でオスねじスリーブをメスねじスリーブにねじ込んでください。



**⚠ 警告**

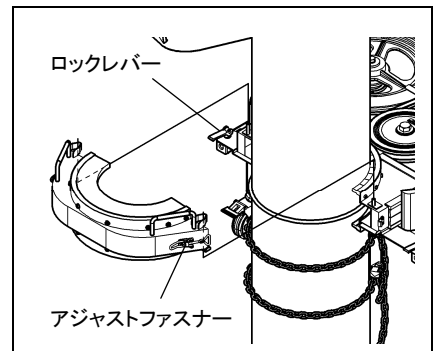
ワイヤーのスリーブが奥までねじ込まれていることを確認してください。ねじ部が破断して飛散する恐れがあります。

- 4) ワイヤーホルダからワイヤーをはずして、メインプーリおよび樹脂プーリの溝にかけてください。
- 5) 操作盤の送りスイッチを「切削」にし、ボリュームを上げてスライドブロックを移動させてください。
- 6) ワイヤーがコンクリート柱に接触してワイヤーが張ったら操作盤の送りスイッチを「停止」にしてください。
- 7) ワイヤーカバー左扉および右扉を閉めてください。



**【8】後付カバーの取付け**

- 1) 集じんカバーのピンと後付カバーのフックを合わせて差し込んでください。
- 2) アジャストファスナーで後付カバーを固定してください。
- 3) ブラシがコンクリート柱に均等に当たるよう位置を合わせて、ロックレバーで固定してください。

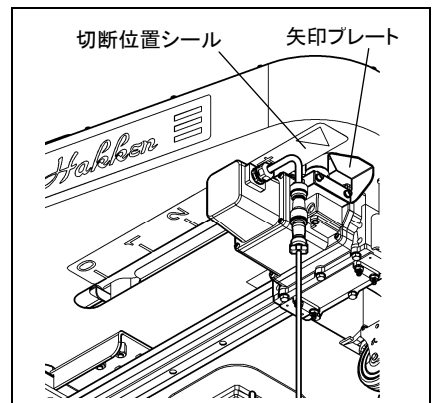


**【9】切断作業**

**⚠ 警告**

1. ワイヤーカバー扉を閉めて切断作業を開始してください。
2. 切断作業中に、ワイヤーソーなどに異常が発生した場合は、ただちに作業を中止してください。
3. 切断作業中は、施工領域に近寄らないでください。また、関係者以外は近づけないでください。
4. 必ず切り離される側のコンクリート柱を吊り、落下防止対策を行ってください。

- 1) 集じん機を起動させて、集じんを開始してください。
- 2) 操作盤の送りスイッチを「切削」にし、ボリュームを調整してください。ボリュームの目安は「3～4」程度です。
- 3) 穴掘建柱車を操作して、メインプーリを回転させて切断を開始してください。
- 4) スライドブロックの矢印プレートとワイヤーカバーの切断位置シールの「▷」が揃うと切断終了です。



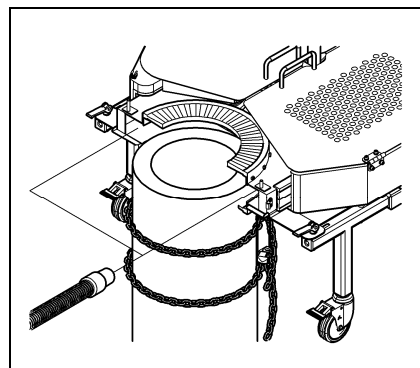
- 5) 切断が完了しましたら、穴掘建柱車を操作してメインプーリの回転を停止してください。
- 6) 操作盤の送りスイッチを「停止」してください。
- 7) 穴掘建柱車のクレーンで、切断したコンクリート柱を撤去してください。

## 【10】取りはずし作業

### ▲ 警告

1. 穴掘建柱車のクレーンでワイヤーソーが下がらないよう吊った後、取りはずし作業を開始してください。ワイヤーソーが下がり大変危険です。
2. 取りはずし作業中は、事故を防止するために穴掘建柱車の操作を行わないでください。

- 1) 穴掘建柱車のクレーンで、ワイヤーソーが下がらないよう吊ってください。
- 2) 後付カバーを取りはずして、集じんフードから集じんホースをはずし、カバー内部の粉じんを集じんしてください。
- 3) 集じん機を停止させてください。
- 4) ベース本体のチェーンを取りはずして、チェーン先端のSカンでチェーンを短く折りたたんでください。
- 5) ワイヤーソーを地上へ降ろしてください。





## 10. 作業中のトラブルと対策

◎ 作業中に異常を感じたら、ただちに作業を中止して安全な状態で、下表にて原因の調査を行ってください。

トラブル	原因	対策方法
スライドブロックが動かない	操作盤のポリュームが低すぎる	操作盤のポリュームを高くする
	送りスイッチを「停止」にしている	送りスイッチを「切削」または「戻り」にする
	接続コードのコネクタがはずれている	接続コードのコネクタを接続する
	操作盤の電源プラグがはずれている、または断線している	断線の場合、修理
	ラックギヤやボールにゴミが付着している	ゴミを取除く
	操作盤の温度が75℃以上になっているため、出力カットの状態になっている	操作盤の温度が75℃以下になるまで使用しない
	ラックギヤが破損している	修理、交換
	ピニオンギヤが破損している	修理、交換
	ボールに傷、変形がある	修理、交換
	接続コードが断線している	修理、交換
	スライドブロックが故障している	修理
	操作盤の不良	修理
メインプーリが回転しない(油圧モータが回転しない)	油圧ホースの接続不良	再度接続する
	操作盤のポリュームが高すぎる	操作盤のポリュームを低くする
	ワイヤーがコンクリート柱の角に引掛かっている	コンクリート柱の角を削って、ワイヤーがスムーズに回転できるようにする
	切り離されたコンクリート柱の破片がワイヤーを挟んでいる	穴掘建柱車のクレーンでコンクリート柱を吊り上げる。
	油圧モータの故障	修理、交換
	穴掘建柱車の故障	「穴掘建柱車」の取扱説明書を参照
切削速度が遅い	操作盤のポリュームが低すぎる	操作盤のポリュームを高くする
	回転速度が遅い	穴掘建柱車の吐出流量を上げる
	鉄筋を切っている	鉄筋を切断するまで待つ
	ワイヤーが摩耗している	ワイヤーを新品に交換する
	穴掘建柱車の油温が高くなっている	「穴掘建柱車」の取扱説明書を参照
メインプーリが空回りする	操作盤のポリュームが低すぎる	操作盤のポリュームを高くする
	ワイヤーがコンクリート柱の角に引掛かっている	被削物の角を削って、ワイヤーがスムーズに回転できるようにする
	切り離されたコンクリート柱の破片がワイヤーを挟んでいる	穴掘建柱車のクレーンでコンクリート柱を吊り上げ、切断面に隙間をつくる

# 1 1. 点検・保守・修理

## 【1】作業前点検

- ◎ 20頁の「電柱切断ワイヤーソー作業前点検確認表」を作業前にコピーして必ず記入し、大切に保管しておいてください。  
異常があった場合、最寄りの「販売店またはコンセック各営業所」にお問い合わせください。

## 【2】定期点検

### 1. 各部取付ねじ・摩耗の点検

- 1) 各部取付ねじのゆるみなどを定期的に点検し、ゆるんでいる所は締めなおしてください。
- 2) ゴムリング、樹脂プーリ、補助プーリの摩耗と振れの点検を行ってください。

⚠ 注意
------

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. ゆるんだまま使用すると、事故などの原因となり大変危険です。</li><li>2. 油圧ホースを接続していない状態で、手でメインプーリを回さないでください。油圧モータの故障の原因となります。</li></ol> |
|---|

### 2. 樹脂プーリ・補助プーリの回転状態の点検・整備

- ◎ プーリを手で回します。このとき、回転が重いまたは、回転がスムーズでない場合は、ボールベアリングの交換が必要です。

## 【3】保守

- ◎ 作業後には、清掃および保守を行ってください。

- 1) 作業後は、表面のよごれの清掃を行ってください。ワイヤーソーの外枠は鉄などを使用しています。外枠の清掃のときは、乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意
------

ワイヤーソーに水をかけないでください。故障の原因となります。
--------------------------------

### 2) ワイヤーの保守

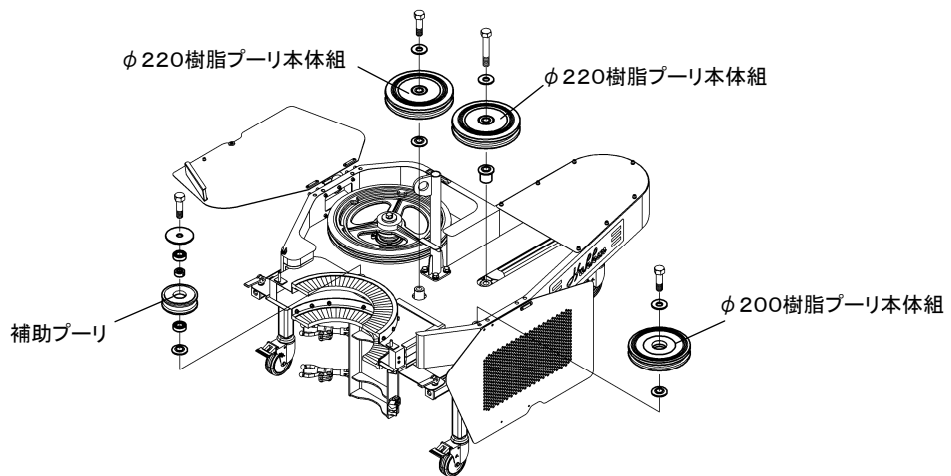
- ビーズ・被覆材・スリーブ等の損傷がないか点検してください。
- 保管は落下や衝撃が加わる恐れのない安全な場所で、湿気のない乾燥した場所に整頓して保管してください。

**警告**

1. 再度使用する場合は、ビーズ・被覆材・スリーブ等の損傷がないか、サビが発生していないか、必ず点検してください。
2. 損傷のある場合および10回使用したワイヤーは、絶対に使用しないでください。
3. ワイヤーを接合しているスリーブは使用により摩耗しますので、切断10回ごとに交換が必要です。

**【4】修理について**

1) 樹脂プーリ、補助プーリの交換



2) メインプーリのゴムリング交換

**警告**

メインプーリは高速回転で使用しても振動しないように、組立時にバランスウェイトを取付けて、バランスをとっていますので、バランスウェイトは絶対にはずさないでください。はずされるとバランスをくずし、回転中に振動を起こし、メインプーリが破損する恐れがあります。また、ワイヤーがはずれたり、ワイヤー受けゴムが異常摩耗する可能性もあります。

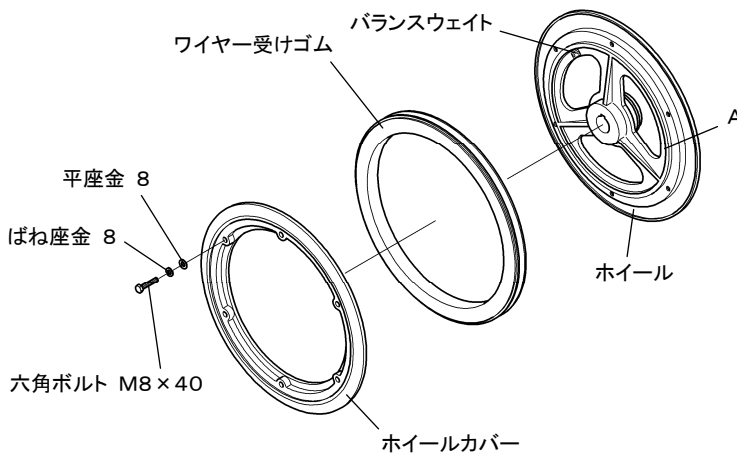


図1

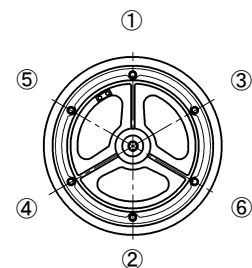


図2 六角ボルト締付け手順

- ① 分解する前に必ず清掃し、よごれを落とした後に、必ずマジック等で、ホイールカバーとホイールの方へ、必ず位置合わせのしるしをつけてください。分解する前と同じ位置で組立てないと、バランスをくずし、回転中に振動が発生する恐れがあります。(バランスウェイトがはずれている場合は、必ず当社サービス工場へ修理に出してください。)
- ② 六角ボルトをゆるめ、ホイールカバーをはずし、ゴムリングを取りはずしてください。

⚠ 注意

ホイールカバーを無理にはずすと割れる可能性があります。

- ③ ホイールカバーとホイールのゴムリング取付け部を清掃し、よごれ、傷、へこみ、バリ、ひび割れ等のない事を確認後、ホイールにゴムリングをはめ込んでください。
- ④ ホイールカバーとホイールを、位置合わせのためにつけたしるしに必ず合わせて、円周に沿って均等に押込み、ワイヤー受けゴムがはみ出していない事を確認し、ホイールカバーの内周がホイールのA部(図1)外周にはまっている事を確認してください。
- ⑤ 10N・m(102kgf・cm)程度で図2を参考に対角線上で六角ボルトを仮締めし、ワイヤー受けゴムが、はみ出していない事を確認後、17.2~27N・m(175~275kgf・cm)で、必ず均等(対角線)に六角ボルトを本締めしてください。

⚠ 注意

六角ボルトを一箇所ずつ本締めするなど、無理な締め付けをするとひび割れ等の原因になりますから必ず数回に分けて図2の締め付け手順で、締め付けを行ってください

- ⑥ 六角ボルトを締め付け後、ホイールカバーおよびホイールのひび割れ等やゴムリングのはみ出し、六角ボルトの締め忘れ等ない事を、再度確認後ご使用ください。

⚠ 注意

メインブーリをワイヤーソーに取付ける際は、表・裏に注意してください。六角ボルトの頭が見える側を手前にしてください。

- ◎ 本製品は厳密な精度で製造されています。  
したがって、正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をしないで、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。
- ◎ その他、取扱い上でご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

---

## 12. 製品の保管

---

### 製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ◇お子様の手がとどいたり、簡単に持ち出せる場所
- ◇鍵のかからない場所
- ◇軒先など雨が降ったり、湿気のある場所
- ◇温度が急変する場所
- ◇直射日光のあたる場所
- ◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている製品の外観などの一部を予告なく変更している場合があります。

# 13. 点検確認表

## 電柱切断ワイヤーソー作業前点検確認表

ランク(判定区分)		状 況
a	点検範囲内	ただちに改善する必要はないが、時期を見て適切な処置をすることが望ましい。
b	早い時期の処置が必要	早い時期に、正しい処置の必要がある。または所有者レベルによる整備が必要です。
c	早急な処置が必要	ただちに、正しい処置の必要がある。または修理専門業者による修理が必要です。

電柱切断ワイヤーソー作業前点検確認表						
現場名			点検者名			製造番号
点検箇所	点検項目	点検方法	不具合の項目		処置	ランク
油圧モータ	YRカプラー	外観を目視で確認	<input type="checkbox"/> :油もれしている	ねじ部分のゆるみ	増し締めする	c
				へそ部分 (YRカプラー先端中央部)	YRカプラーを交換 【注意】ねじ部に シールテープを巻く	b
	モータ	穴掘建柱車の油圧ホースを接続し、無負荷運転する	<input type="checkbox"/> :ゴリゴリ、異音がしている		修理に出す	c
スライドブロック	コネクタ	外観を目視で確認する	<input type="checkbox"/> :コネクタが黒く焼けている		修理に出す	c
	送り動作	操作盤を接続し、送りスイッチ(切削・戻り)を入れ動作確認	<input type="checkbox"/> :移動するが動作が不安定である	ポールベースのラックギヤの谷部に鉄粉などが堆積し、動作の妨げになっている	堆積物を取除く	b
				スライドブロックの故障	修理に出す	c
				操作盤の故障	修理に出す	c
ポールベース	ラックギヤ	スライドブロックを取付け、実際に送り動作を行う	<input type="checkbox"/> :ラックギヤの谷部に鉄粉などが堆積し、送り動作の妨げになっている		堆積物を取除く	b
メインプーリ	固定確認	工具を使用して、ボルト類の締付け具合を点検する	<input type="checkbox"/> :バランスウェイトがガタついている		増し締めする	b
	ゴムリング	外観を目視で確認	<input type="checkbox"/> :ゴムリングが異常摩耗している		ゴムリング交換	c
各プーリ	回転	手で空転させ、スムーズに回転するかを点検する	<input type="checkbox"/> :回転が重く途中で止まる または回転中にゴリゴリと異物混入している様子		ベアリング交換	b
	樹脂プーリ	外観を目視で確認	<input type="checkbox"/> :樹脂プーリが異常摩耗している		樹脂プーリ交換	c
	補助プーリ	外観を目視で確認	<input type="checkbox"/> :補助プーリが異常摩耗している		補助プーリ交換	c
操作盤 接続コード	操作盤 コード	外観を目視で確認	<input type="checkbox"/> :破損・変形・亀裂はないか		修理に出す	c
		外観を目視で確認	<input type="checkbox"/> :コード・レセプタクルは、痛んでいないか		修理に出す	c

---

## メモ

---



株式会社コンセック

本社 〒 733-0833 広島市西区商工センター4-6-8  
第二事業本部 TEL (082)277-5452 FAX (082)278-6389

型式名	UPW-100A	検印
製造番号		

E2430-0